



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 スーパーバッグ株式会社

上場取引所

東

コード番号 3945

URL <https://www.superbag.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 樋口 肇

問合せ先責任者（役職名） 経理部長

（氏名） 鈴木 崇之

TEL 04-2938-1244

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	13,431	2.4	296	△11.0	339	△13.0	260	△4.2
2025年3月期中間期	13,122	5.1	333	△12.5	390	△3.2	271	△16.0

（注）包括利益 2026年3月期中間期 317百万円（27.2％） 2025年3月期中間期 249百万円（△50.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	175.58	—
2025年3月期中間期	183.54	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	14,972	4,896	32.6
2025年3月期	14,600	4,730	32.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 4,884百万円 2025年3月期 4,718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	105.00	105.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	110.00	110.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	29,300	6.2	1,110	23.1	1,180	15.4	900	△7.8	606.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	1,686,154株	2025年3月期	1,686,154株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	200,870株	2025年3月期	202,997株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	1,484,065株	2025年3月期中間期	1,481,832株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、中間期決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料につきましては、後日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続、金利上昇、米国の通商政策による国内景気への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、国内の雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の回復から、来店型店舗における包装資材需要は高まっており、紙製品事業は好調に推移いたしました。また、EC市場拡大と環境意識の定着から、紙製宅配資材の販売も堅調に推移いたしましたが、原材料価格の高止まり、物流コストの高騰といった厳しい事業環境が続いています。

このような環境のもと、当社グループは2024年5月10日に第2次中期経営計画『環境と共に歩む次世代パッケージ企業～創業120年の誇りを胸に～』を公表いたしました。『成長戦略の追求と環境経営基盤の構築』を基本方針とし、「紙製品事業への注力」、「新規事業開拓」、「環境偏差値向上」、「人的資本・ガバナンス強化」、「経営基盤戦略」に注力し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

当中間連結会計期間においては、宅配袋・紙器を中心とした成長牽引製品の拡販強化、生産リソースの再配置によるグループ全体の経営資源の最適化及び人事制度改革による人的資本の強化に取り組むとともに、政策保有株式を縮減することで資本効率化を推進してまいりましたが、物価高騰や販売コストの増加が利益を押し下げる形となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は13,431百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益296百万円（前年同期比11.0%減）、経常利益339百万円（前年同期比13.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益260百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント損益（営業損益）は、「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用361百万円を配分する前の金額であります。

「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、国内における個人消費の回復もあり、主力の宅配袋、紙器の販売が好調に推移し、売上高は前年同期に比べ159百万円増加して7,233百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、紙製品事業へのリソース集中・生産体制の効率化施策を推進するも、原材料費や人件費等のコストが増加したことに加えて、在庫の適正化を実施したことにより粗利率が低下した結果、前年同期に比べ45百万円減少して486百万円となりました。

「化成品事業」

化成品事業につきましては、飲食店をはじめとするテイクアウト用ポリ袋のニーズを取り込んだものの、包装資材の有料化等の影響により、売上高は前年同期に比べ46百万円減少して2,749百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、海外調達の効率化により、前年同期に比べ27百万円増加して71百万円となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しております。売上高は前年同期に比べ195百万円増加して3,448百万円となりました。品目ごとの販売構成では、清掃用品や、百貨店やスーパー向けの事務用品・レジ用品の販売が増加しております。セグメント利益（営業利益）は、取引先の店舗数増加に伴いベンダーアイテムの取扱いが増加したことから、前年同期に比べ11百万円増加して99百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ371百万円増加して14,972百万円となりました。流動資産は、受取手形が48百万円減少、売掛金が90百万円減少、電子記録債権が84百万円減少した一方、現金及び預金が315百万円増加、棚卸資産が173百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ332百万円増加の10,506百万円となりました。固定資産は、減価償却で134百万円減少、投資有価証券の売却で137百万円減少した一方、設備投資等により299百万円増加、投資有価証券の時価評価額が86百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ39百万円増加の4,466百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ205百万円増加して10,076百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が93百万円減少、未払法人税等が78百万円減少した一方、電子記録債務及び設備関係電子記録債務が268百万円増加、未払金及び設備関係未払金が86百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ166百万円増加して4,896百万円となりました。これは、剰余金の配当で155百万円減少した一方、親会社株主に帰属する中間純利益計上により260百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の32.3%から32.6%になりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は3,092百万円となり、前連結会計年度末に比べ312百万円増加しております。その内訳は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は、385百万円（前年同期は277百万円の増加）となりました。これは、棚卸資産の増加173百万円、法人税等の支払額180百万円等資金が減少したものの、税金等調整前中間純利益367百万円、減価償却費134百万円、売上債権の減少223百万円等資金が増加したことなどによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間における投資活動による資金の増加は、31百万円（前年同期は210百万円の減少）となりました。これは、固定資産の取得による支出151百万円等資金が減少したものの、投資有価証券の売却による収入189百万円等資金が増加したことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は、113百万円（前年同期は79百万円の減少）となりました。これは、借入金純額が78百万円増加したものの、配当金の支払額152百万円、リース債務の返済による支出38百万円等資金が減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日公表の数値に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,834	3,150
受取手形	89	41
売掛金	3,737	3,647
電子記録債権	756	672
商品及び製品	2,133	2,283
仕掛品	241	275
原材料及び貯蔵品	283	273
その他	115	181
貸倒引当金	△19	△18
流動資産合計	10,173	10,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,978	4,002
減価償却累計額	△3,354	△3,378
建物及び構築物（純額）	624	624
機械装置及び運搬具	7,152	7,023
減価償却累計額	△6,481	△6,278
機械装置及び運搬具（純額）	671	745
土地	644	644
リース資産	557	583
減価償却累計額	△418	△436
リース資産（純額）	139	147
建設仮勘定	24	55
その他	386	382
減価償却累計額	△365	△357
その他（純額）	20	25
有形固定資産合計	2,123	2,241
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	1	1
その他	82	128
無形固定資産合計	99	144
投資その他の資産		
投資有価証券	1,483	1,382
差入保証金	106	105
退職給付に係る資産	385	383
繰延税金資産	226	206
その他	3	4
貸倒引当金	△0	△1
投資その他の資産合計	2,204	2,080
固定資産合計	4,427	4,466
資産合計	14,600	14,972

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,334	2,240
電子記録債務	2,569	2,700
短期借入金	1,147	1,132
リース債務	177	153
未払金	434	537
未払法人税等	215	136
未払消費税等	85	31
契約負債	11	8
賞与引当金	214	225
設備関係電子記録債務	10	147
設備関係未払金	23	7
その他	132	134
流動負債合計	7,356	7,457
固定負債		
長期借入金	1,726	1,819
リース債務	83	96
役員退職慰労引当金	45	39
退職給付に係る負債	657	662
固定負債合計	2,513	2,618
負債合計	9,870	10,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,242	1,244
利益剰余金	1,984	2,089
自己株式	△373	△369
株主資本合計	4,228	4,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	340	395
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	178	176
退職給付に係る調整累計額	△28	△27
その他の包括利益累計額合計	489	545
非支配株主持分	11	12
純資産合計	4,730	4,896
負債純資産合計	14,600	14,972

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	13,122	13,431
売上原価	10,542	10,809
売上総利益	2,579	2,622
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,118	1,150
給料及び手当	622	658
賞与引当金繰入額	112	116
退職給付費用	18	26
賃借料	67	68
旅費及び交通費	39	34
その他の経費	268	270
販売費及び一般管理費合計	2,246	2,325
営業利益	333	296
営業外収益		
受取配当金	25	24
持分法による投資利益	38	31
為替差益	5	4
受取賃貸料	15	3
その他	9	9
営業外収益合計	95	74
営業外費用		
支払利息	34	29
その他	3	2
営業外費用合計	38	31
経常利益	390	339
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	0	54
特別利益合計	0	54
特別損失		
固定資産除却損	1	6
投資有価証券売却損	0	—
子会社清算損	—	19
特別損失合計	1	25
税金等調整前中間純利益	389	367
法人税、住民税及び事業税	68	120
法人税等調整額	50	△13
法人税等合計	119	107
中間純利益	270	260
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する中間純利益	271	260

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	270	260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	54
繰延ヘッジ損益	△5	2
為替換算調整勘定	44	9
退職給付に係る調整額	△8	1
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△10
その他の包括利益合計	△21	56
中間包括利益	249	317
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	251	316
非支配株主に係る中間包括利益	△2	0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	389	367
減価償却費	128	134
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19	11
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	14	2
受取利息及び受取配当金	△26	△25
支払利息	34	29
持分法による投資損益 (△は益)	△38	△31
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△54
固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
固定資産除却損	1	6
子会社清算損益 (△は益)	—	19
売上債権の増減額 (△は増加)	894	223
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△49	△173
仕入債務の増減額 (△は減少)	△746	35
未収入金の増減額 (△は増加)	△6	6
未払債務の増減額 (△は減少)	△44	137
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△74	△54
その他	△126	△133
小計	368	500
利息及び配当金の受取額	87	96
利息の支払額	△36	△31
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△142	△180
営業活動によるキャッシュ・フロー	277	385
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△7	△0
投資有価証券の売却による収入	0	189
固定資産の取得による支出	△201	△151
固定資産の売却による収入	0	—
固定資産の除却による支出	△0	△3
その他	△2	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△210	31
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	830	700
長期借入金の返済による支出	△743	△621
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△37	△38
配当金の支払額	△128	△152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79	△113
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	33	312
現金及び現金同等物の期首残高	2,533	2,780
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,566	3,092

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	5,884	—	—	5,884	—	5,884
紙器	749	—	—	749	—	749
その他紙製品	440	—	—	440	—	440
ポリ袋	—	2,342	—	2,342	—	2,342
その他化成品	—	452	—	452	—	452
その他商品	—	—	3,252	3,252	—	3,252
顧客との契約から生じる 収益	7,073	2,795	3,252	13,122	—	13,122
外部顧客への売上高	7,073	2,795	3,252	13,122	—	13,122
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,073	2,795	3,252	13,122	—	13,122
セグメント利益	532	44	87	664	△331	333

(注) 1. セグメント利益の調整額△331百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	5,906	—	—	5,906	—	5,906
紙器	895	—	—	895	—	895
その他紙製品	431	—	—	431	—	431
ポリ袋	—	2,370	—	2,370	—	2,370
その他化成品	—	379	—	379	—	379
その他商品	—	—	3,448	3,448	—	3,448
顧客との契約から生じる 収益	7,233	2,749	3,448	13,431	—	13,431
外部顧客への売上高	7,233	2,749	3,448	13,431	—	13,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,233	2,749	3,448	13,431	—	13,431
セグメント利益	486	71	99	658	△361	296

(注) 1. セグメント利益の調整額△361百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。